

梅木 加津子 議員



一括質問方式

- ①子育て支援
- ②地域医療
- ③大洲城の整備
- ④土地開発公社の解散
- ⑤マイナンバー
- ⑥水道施設
- ⑦肱川河川整備計画

子育て支援について

問 第3子以降の小・中学生の医療

費について、無料化とする議案が提案されているが、実施するならば全ての小・中学生を対象とするよう拡大するつもりはないか。

また、実施時期の前倒しはできないのか。

答 全てのお子さんを対象にした医療費助成の拡大については、市

の負担に係る財源確保の問題や他の子育て支援策との整合性や優位性、市民の不公平感や県内他市の状況など、総合的に勘案して判断したいと考えています。

実施時期の前倒しについては、医療システムの改修や小・中学校を通しての周知、受給者証の印刷など、事前準備が必要となります。特に、システム改修については、本市のシステムを改修するだけでなく、国保連合会のシステムを改修する必要があり、これらシステム改修に約5カ月間必要なことから、10月1日診療分から適用とさせていただいています。

地域医療について

問 肱川地域の病院が廃業した後の

医師確保は、地域の方々にとって、日を追うごとに切実な問題になっている。

市として、その後どのように医師確保のために努力されたのか。結果

はどうなったのか。福田医院を市で購入し、医師を確保し、地域医療の場にするつもりはないか。現状での肱川町の医師確保について市長の見を伺う。

答

喜多医師会に対し地元自治会や関係者の皆様とともに常駐の医師の紹介をお願いしました。また、今年に入り、2月19日に東京で開催された旧肱川町出身者の会において、肱川地域が現在無医地区になっていることを御報告し、地域医療に意欲のある医師の紹介をお願いしたところですが、現在のところ問い合わせや申し込みの連絡を受けていないのが現状です。

今後の対応については、市ホームページにおいて、地域医療を支えていただける医師の募集ができるような条件整備の検討を進めているところです。まずは民間の医師が福田医院の施設を継承していただくことが最も望ましいことと考えており、市として施設の購入は考えていませんが、市民の皆様が将来にわたって安心して地域医療を受けることができよう最善を尽くしていきたいと考えています。

大洲城の整備について

問

大洲城のケヤキについて、お城を愛してやまない市民の方々から、立派に育ったケヤキをなぜ切るのか、石垣への影響はケヤキだけではないのではないか。お城のシンボルでもあるケヤキを残してほしいなどといった声が出されている。市民の方々のこうした声に対して、市としてどのような考えで説明対応されているのか。

答

城山公園の植栽整備は城山公園植栽整備計画に基づき計画的に実施しており、本丸のケヤキ伐採についても、年次計画に沿って実施したものです。本整備計画の策定に当たっては、城山公園の植栽整備のあり方への理解を深めていただくために、シンポジウムを開催したほか、肱南、肱北、久米地区を対象に地元説明会を開催し、計画への理解を求めています。

えています。